

## 100周年記念基金学術振興助成の申し合わせ

大会ならびに研究会における優秀論文発表の表彰および特別学術振興活動への助成に関しては、下記のように取り扱う。

### 1. 大会ならびに研究会における優秀論文発表の表彰に関する発表賞の配分について

#### 1) 賞Aの配分

「100周年記念基金学術振興助成規程細目」の参考として添付した計算方法で賞Aの研究会等へ配分を求めると、毎年過去1年間の実績により変動する。しかし、毎年その算出をするのは煩わしいので、原則として表彰件数、3年間は固定し3年毎に過去3年間の発表件数の実績に基づき見直すものとする。

従って、当面は表1-1のように各部門研究会ならびに部門大会に賞Aを配分することとする。

#### 2) 賞Bの配分

「100周年記念基金学術振興助成規程細目」の参考として添付した計算方法で賞Bの研究会等(\*)へ配分を求めると、毎年過去1年間の実績により変動する。しかし、毎年その算出をするのは煩わしいので、原則として表彰件数は3年間固定し、3年毎に過去3年間の発表件数の実績に基づき見直すものとする。

従って、当面は表1-2のように全国大会ならびに支部大会に賞Bを配分することとする。

### 2. 特別学術振興活動への助成

「100周年記念基金学術振興助成規程細目」第2条(4)に定める特別学術振興活動への助成金の年約300万円については、各部門へ優先的に約250万円(50万円×5部門)を充当するものとする。

(改廃等)

1. 平成12年4月7日、調査会議において一部改正。
2. 平成13年6月28日、調査会議において一部改正。
3. 平成19年4月25日、理事会におけるE準部門部門昇格決定に伴う語句修正。

下の「注」は、平成12年10月11日、事業サービス課にて追記しました。

注：(\*)を付記した1-2)の研究会等は、正しくは「全国大会、支部大会等」です。

○表1-1 賞Aの算出結果

	発表論文数				配分数
	平成25年	平成26年	平成27年	合計 (H25~27)	H28~30
A部門研究会	1,012	980	932	2,924	14
B部門研究会	800	825	708	2,333	11
C部門研究会	737	676	765	2,178	11
D部門研究会	1,178	956	1,049	3,183	16
E部門研究会	106	108	208	422	2
研究会合計(1)	3,833	3,545	3,662	11,040	54
A部門大会	222	157	270	649	3
B部門大会	401	363	386	1,150	5
C部門大会	480	465	442	1,387	7
D部門大会	527	475	574	1,576	8
E部門大会	170	200	219	589	3
部門大会合計(2)	1,800	1,660	1,891	5,351	26
(1) + (2)	5,633	5,205	5,553	16,391	80

○表1-2 賞Bの算出結果

	発表論文数				配分数
	平成25年	平成26年	平成27年	合計 (H25~27)	H28~30
全国大会	1,388	1,225	1,253	3,866	40
北海道支部連合大会	199	165	176	540	5
東北支部連合大会	293	260	225	778	8
東海支部連合大会	610	563	597	1,770	18
北陸支部連合大会	302	235	284	821	8
関西支部連合大会	265	231	190	686	7
中国支部連合大会	296	267	279	842	8
四国支部連合大会	349	346	313	1,008	10
九州支部連合大会	554	528	493	1,575	16
支部大会合計	2,868	2,595	2,557	8,020	80